

全国中学校スキー大会

女子回転で 2位入賞!



小柴早紀さん(幾寅中学校3年)

第42回全国中学校スキー大会が、2月4日から7日まで秋田県鹿角市の花輪スキー場で開催され、幾寅中学校3年の小柴早紀さんが、5日の女子回転競技で2位入賞を果たしました。

小柴さんは、スキー少年団の監督でもある父昌弘さんの指導のもと、小学1年生から少年団に入り、幾寅中学校に進学してからは練習に専念するためスキー部を創設してもらい、夏場はウエートトレーニングや走り込みで体力づくりに励み、シーズン入りしてからは、毎日滑り込みをして技術を磨いてきました。

一昨年、1年生で初出場した全国大会では途中棄権に終わっており、昨年は、全道大会で結果を出すことができず悔し涙を飲みました。そして、3年生になった今年、その悔しさをバネに春から早朝トレーニングに取り組み、先の全道大会で回転競技の優勝と大回転競技で3位に入賞し、全国大会への出場権を得ました。

今大会の回転競技1本目は、1位に1秒96の大差をつけられたものの3位につけ、「絶対に勝つ」という強い気持ちで挑んだ2本目には、1位の地元選手を1秒37上回るラップタイムをたたき出しました。合計タイムでわずか0・59秒とどきませんでした。堂々の2位入賞に輝きました。最終日には、得意とする大回転競技に臨みましたが、

1本目で途中棄権となりました。

「今シーズンは中学生として最後の年。今回の結果に満足せず、3月の全日本選手権やジャパンスリーズで上位を目指します。」と、早くも次の大会に向けて意気込みを語ってくれました。

耳をすまして読み手に集中

第27回子ども会カルタ大会

1月23日、総合福祉センターで町子ども会育成連絡協議会の主催による「第27回子ども会カルタ大会」が開催されました。

この大会は、各地域の子ども達が集い、カルタを通じて会員の親睦とグループ活動を推進し、子ども達の健全育成を図ることを目的に毎年行われています。

この日、町内各地区から小中学生合わせて28チーム96名が出場。7ブロックに分かれて予選リーグを行い、各ブロックの上位2チームによる決勝トーナメントで、各



静けさのなか攻防を繰り広げる子ども達

部門のカルタ町内一を競いました。会場に詰めかけた父母などが見守り、ピンと張り詰めた雰囲気の中、出場した子ども達は、朗々とした読み手の声に耳をすまし、下の句のはじめが読まれると神経を集中し、勢い良く札を取っていました。

なお、各部門の成績は次のとおりです。

小学生低学年の部

- 優勝 ちびっ子(幾寅栄町)
- 準優勝 気合でGO(幾寅東町)
- 3位 紅葉(幾寅岐阜)
- 4位 風の子(幾寅朝日町)

小学生高学年の部

- 優勝 ぽっぽ屋(幾寅朝日町)
- 準優勝 はやとり(幾寅東町)
- 3位 栄町乙女(幾寅栄町)
- 4位 Destroyers(金山)

中学生の部

- 優勝 ものみんな(幾寅岐阜)
 - 準優勝 赤組ゆきちゃん(幾寅東町)
 - 3位 Poiesis(幾寅東町)
 - 4位 子ニヤン(孫ニヤン)
- (孫ニヤン)(下金山)